

平成28年
人口動態統計月報年計（概数）の概況
—島根県編—

目 次

人口動態調査の概要	1
結果の概要	
1 結果の要約	3
2 出生	5
(1) 出生数・出生率	5
(2) 合計特殊出生率	6
3 死亡	8
(1) 死亡数・死亡率	8
(2) 死因	9
4 婚姻	14
5 離婚	15
統計表	
第1表 人口動態総覧（実数）の年次推移	16
第2表 人口動態総覧（率）の年次推移	18
第3表 母の年齢（5歳階級）別出生数の年次推移	19
第4表 性・年齢（5歳階級）別死亡数の年次推移	20
第5表 死因簡単分類別死亡数・死亡率（人口10万対）	22
参 考	
*算出に用いた人口	26

島根県健康福祉部健康福祉総務課

T E L 0852-22-6329

F A X 0852-27-6317

人口動態調査の概要

1 調査の目的

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成28年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。

3 調査の期間

平成28年1月1日～平成28年12月31日

4 調査の方法

市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

5 報告の系統

市区町村 — 保健所 — 都道府県 — 厚生労働省
└─ 保健所を設置する市 ─┘
・特別区

6 結果の集計

集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）で行った。

【利用上の注意】

1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

<人口動態統計速報>

数 値：調査票を作成した数

集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人（いずれも前年以前発生のもを含む）

公 表：毎月（調査月の約2か月後）

<人口動態統計月報>

数 値：概数

集計客体：日本における日本人（前年以前発生のもを除く）

公 表：毎月（調査月の約5か月後）

毎年（年間合計）（調査年の翌年6月）※本概況

<人口動態統計年報>

数 値：確定数（概数に修正を加えたもの）

集計客体：日本における日本人（日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生のもは別掲）

公 表：毎年（調査年の翌年9月）

2 諸率の算出基礎となる人口について

合計特殊出生率等の諸率の算出の基礎となる人口は、本「概数」においては、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計したものである。

3 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小（0.05, 0.00005 未満）の場合	0.0, 0.0000
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

4 用語の説明

自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの

乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡

新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死 産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

5 この概況で使用した数値は、平成27年以前は確定数である。

6 都道府県の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は 5,300 人で、前年の 5,551 人から 251 人減少し、出生率（人口千対）は 7.7 で、前年の 8.1 を下回った（全国第 21 位）。

合計特殊出生率は 1.75 で、前年の 1.78 を下回り、全国第 2 位（昨年と同位）であった。第 1 位は沖縄県（1.95）、第 2 位は島根県（1.75）、第 3 位は長崎県、宮崎県（1.71）、第 5 位は鹿児島県（1.68）である。

(2) 死亡数は減少

死亡数は 9,562 人で、前年の 9,604 人から 42 人減少した。死亡率（人口千対）は 14.0 で、前年の 13.9 を上回った（全国第 3 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 26.9%、14.2%、9.5%である。本県では平成 7 年以降、死亡者のおよそ 3 割の死因が悪性新生物となっている。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△4,262 人で、前年の△4,053 人から 209 人減少し、自然増減率（人口千対）は△6.2 で、前年の△5.9 より 0.3 減少した（全国第 40 位）。本県は平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は増加

死産数は 136 胎で前年の 107 胎より 29 胎増加し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 25.0 で、前年の 18.9 を上回った。死産率のうち、自然死産率は 14.5（前年は 7.2）、人工死産率は 10.5（前年は 11.7）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,753 組で、前年の 2,931 組から 178 組減少し、婚姻率（人口千対）は 4.0 で、前年の 4.3 を下回った（全国第 43 位）。

平均初婚年齢は夫 30.4 歳、妻 28.7 歳で、夫は前年と同じ、妻は前年より 0.4 歳下降した（全国平均は夫 31.1 歳、妻 29.4 歳で前年と同じ）。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は 949 組で、前年の 1,022 組から 73 組減少し、離婚率は（人口千対）1.39 で前年の 1.48 を下回った（全国第 43 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成 28 年	平成 27 年	対前年増減	平成 28 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 27 年
出生	5,300	5,551	△ 251	7.7	8.1	1 時間 39 分 10 秒	1 時間 34 分 41 秒
死亡	9,562	9,604	△ 42	14.0	13.9	54 分 58 秒	54 分 43 秒
乳児死亡	11	8	3	2.1	1.4	33 日 4 時間 21 分 49 秒	45 日 15 時間
新生児死亡	4	6	△ 2	0.8	1.1	91 日 6 時間	60 日 20 時間
自然増減	△ 4,262	△ 4,053	△ 209	△ 6.2	△ 5.9	…	…
死産	136	107	29	25.0	18.9	2 日 16 時間 24 分 42 秒	3 日 9 時間 52 分 8 秒
自然死産	79	41	38	14.5	7.2	4 日 14 時間 53 分 9 秒	8 日 21 時間 39 分 30 秒
人工死産	57	66	△ 9	10.5	11.7	6 日 9 時間 41 分 3 秒	5 日 12 時間 43 分 38 秒
周産期死亡	17	14	3	3.2	2.5	21 日 11 時間 17 分 38 秒	28 日 1 時間 50 分 46 秒
妊娠 22 週以後の死産	15	10	5	2.8	1.8	24 日 8 時間	40 日 13 時間 20 分
早期新生児死亡	2	4	△ 2	0.4	0.7	182 日 12 時間	91 日 6 時間
婚姻	2,753	2,931	△ 178	4.0	4.3	3 時間 10 分 55 秒	2 時間 59 分 19 秒
離婚	949	1,022	△ 73	1.39	1.48	9 時間 13 分 50 秒	8 時間 34 分 17 秒

	平成 28 年	平成 27 年
合計特殊出生率*	1.75	1.78

*分母に用いた人口
5 歳階級別総人口（総務省推計）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。

2 出生

(1) 出生数・出生率

平成28年の出生数は5,300人で、前年の5,551人から251人減少し、出生率（人口千対）は7.7（全国第21位）で、前年の8.1を下回った。出生数、出生率ともに昭和46～49年の第2次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている（図1）。

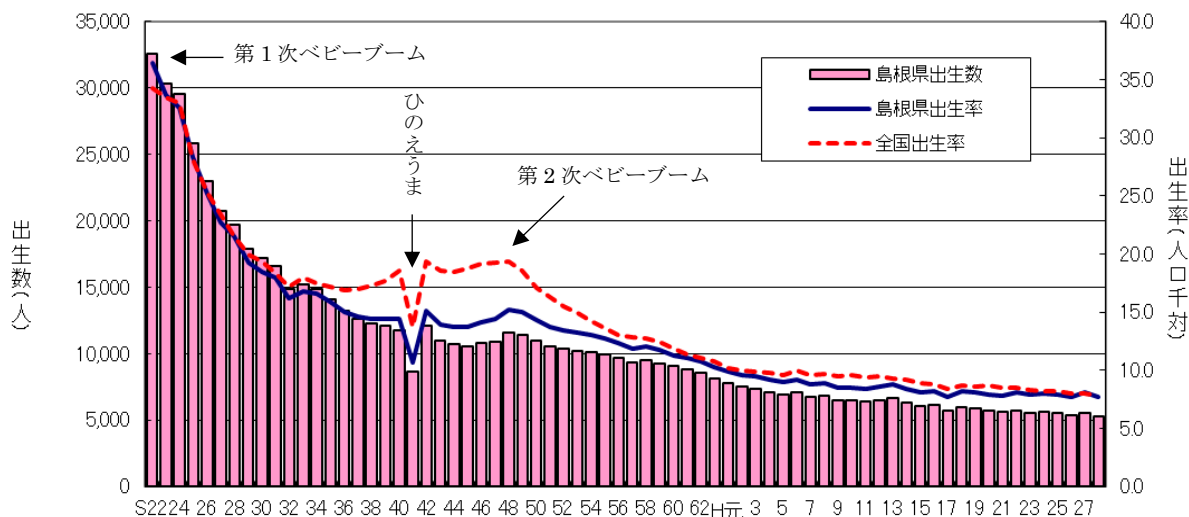


図1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、10代および、40代の各階級では前年より増加したものの、20代と30代の各階級では減少した（表2）。

表2 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	26年－25年	27年－26年	28年－27年
総数	5,534	5,359	5,551	5,300	△ 175	192	△ 251
～14歳	-	1	-	1	1	△ 1	1
15～19	62	69	57	70	7	△ 12	13
20～24	524	471	539	472	△ 53	68	△ 67
25～29	1,681	1,659	1,542	1,537	△ 22	△ 117	△ 5
30～34	1,961	1,858	1,985	1,769	△ 103	127	△ 216
35～39	1,113	1,055	1,156	1,152	△ 58	101	△ 4
40～44	190	238	266	292	48	28	26
45～49	3	8	6	7	5	△ 2	1
50歳以上	-	-	-	-	-	-	-

出生順位別にみると、平成 28 年はいずれの出生順位においても、出生数が前年より減少した（表 3）。

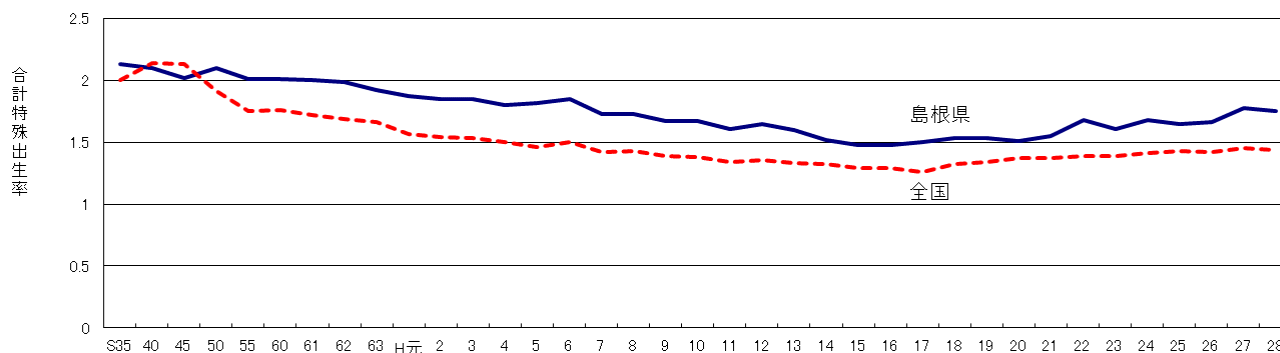
表 3 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	26年－25年	27年－26年	28年－27年
総数	5,534	5,359	5,551	5,300	△ 175	192	△ 251
第1子	2,331	2,319	2,306	2,190	△ 12	△ 13	△ 116
第2子	1,981	1,940	2,026	1,933	△ 41	86	△ 93
第3子以上	1,222	1,100	1,219	1,177	△ 122	119	△ 42

(2) 合計特殊出生率

平成 28 年の合計特殊出生率は 1.75 であった。全国と比較すると、昭和 50 年以降一貫して島根県が上回っており、平成 28 年の順位は全国第 2 位である（図 2）。

図 2 合計特殊出生率の年次推移



○算出方法

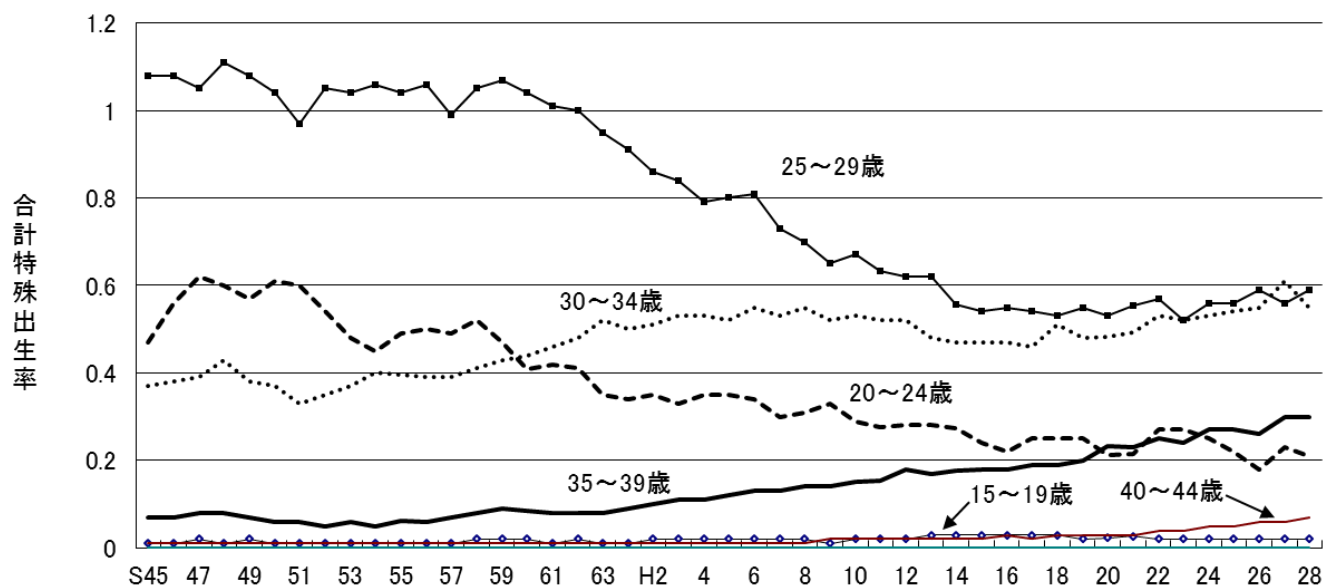
※1 ※2
「(母の年齢別出生数) ÷ (年齢別女性人口)」の 15 歳から 49 歳までの合計

※1 (母の年齢別出生率) = (分子): 「人口動態統計」(厚生労働省)

※2 (年齢別女性人口) = (分母): 「推計人口」(総務省、ただし国勢調査年は国勢調査における日本人人口)

年齢（5歳階級）別合計特殊出生率の昭和45年以降の推移を見ると、年により多少の増減があるものの、概ね20歳代では低下傾向、30歳代では上昇傾向にある。平成28年は25～29歳、40～44歳の各階級で上昇し、20～24歳、30～34歳の各階級では下降した。（図3）。

図3 合計特殊出生率の年次推移【年齢階級別内訳】



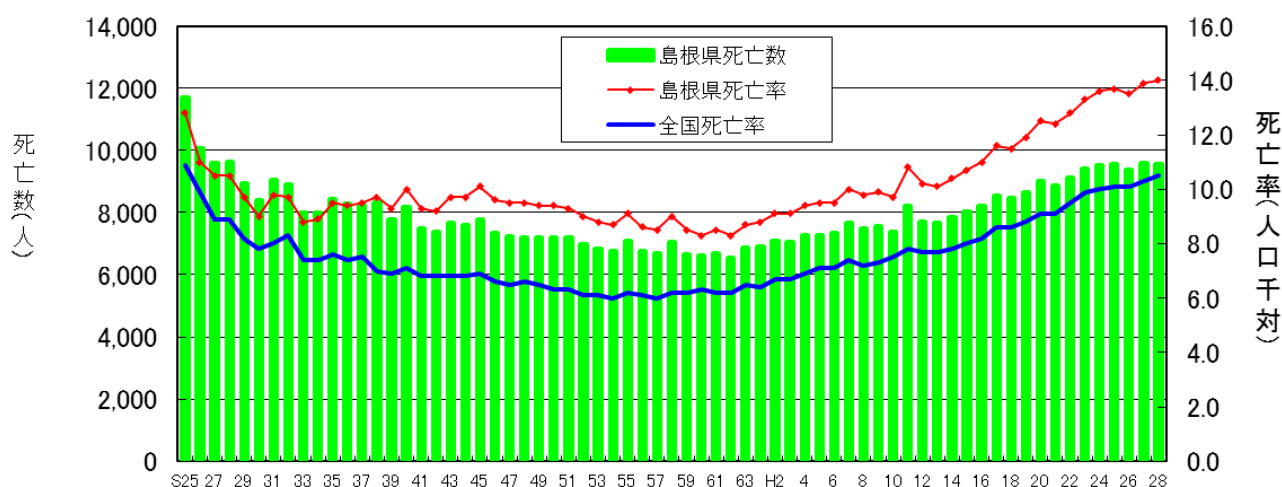
3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 28 年の死亡数は 9,562 人で、前年の 9,604 人より 42 人減少し、死亡率（人口千対）は 14.0 で、前年の 13.9 より 0.1 増加した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下したが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、その後も上昇傾向を続けている（図 4）。

図 4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率（人口 10 万対）をみると、15～34 歳の各階級、40～44 歳、60～64 歳、70～74 歳および 80 歳以上の各階級が前年より減少した。特に 80 歳以上の減少が大きい。

死亡率性比（男性の死亡率／女性の死亡率×100）を年齢階級別にみると、5～24 歳の各階級、30～34 歳を除く年齢階級において 100 以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している（表 4）。

表4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成28年	平成27年	対前年増減	平成28年	平成27年	対前年増減	
総数	9,562	9,604	△42	1,398.0	1,394.0	4.0	100.2
0～4	14	12	2	51.9	44.5	7.4	123.8
5～9	4	1	3	13.8	3.5	10.3	93.3
10～14	3	2	1	10.0	6.5	3.5	50.0
15～19	3	12	△9	9.4	38.3	△28.9	-
20～24	7	11	△4	30.4	44.0	△13.6	-
25～29	13	16	△3	46.4	56.3	△9.9	208.9
30～34	11	23	△12	33.3	68.6	△35.3	78.4
35～39	23	18	5	60.5	45.6	14.9	147.8
40～44	42	43	△1	95.5	97.3	△1.8	155.4
45～49	61	58	3	152.5	151.2	1.3	134.6
50～54	104	98	6	273.7	244.8	28.9	197.1
55～59	174	150	24	395.5	334.5	61.0	216.4
60～64	282	334	△52	564.0	637.4	△73.4	252.5
65～69	616	552	64	977.8	935.0	42.8	266.7
70～74	523	607	△84	1,275.6	1,400.5	△124.9	206.3
75～79	884	891	△7	2,266.7	2,246.7	20.0	211.1
80～	6,797	6,775	22	7,996.5	8,156.0	△159.5	140.4

注：死亡率性比＝男性の死亡率／女性の死亡率×100

平成27年、28年は年齢不詳が1人いるため、死亡総数と年齢階級別死亡数の合計は一致しない

(2) 死因

①死因順位

平成28年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,571人（人口10万対死亡率375.9）、第2位は心疾患で1,357人（198.4）、第3位は老衰で908人（132.7）となっている（表5）。なお、全国の死因は、第1位が悪性新生物、第2位が心疾患、第3位が肺炎となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物による死亡率は上昇を続け、昭和59年以降、死亡原因の第1位となった。心疾患の死亡率は、平成12年に死亡原因第2位となって以降上昇傾向にある。脳血管疾患の死亡率は、平成12年以降概ね横ばいで推移している。老衰の死亡率は、ほぼ横ばいに推移していたが、平成19年以降上昇し続けている（図5）。

また、死因別の死亡率を都道府県ごとに見た場合、老衰（全国第1位）、悪性新生物（第3位）、脳血管疾患（第4位）が高い水準を示している。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

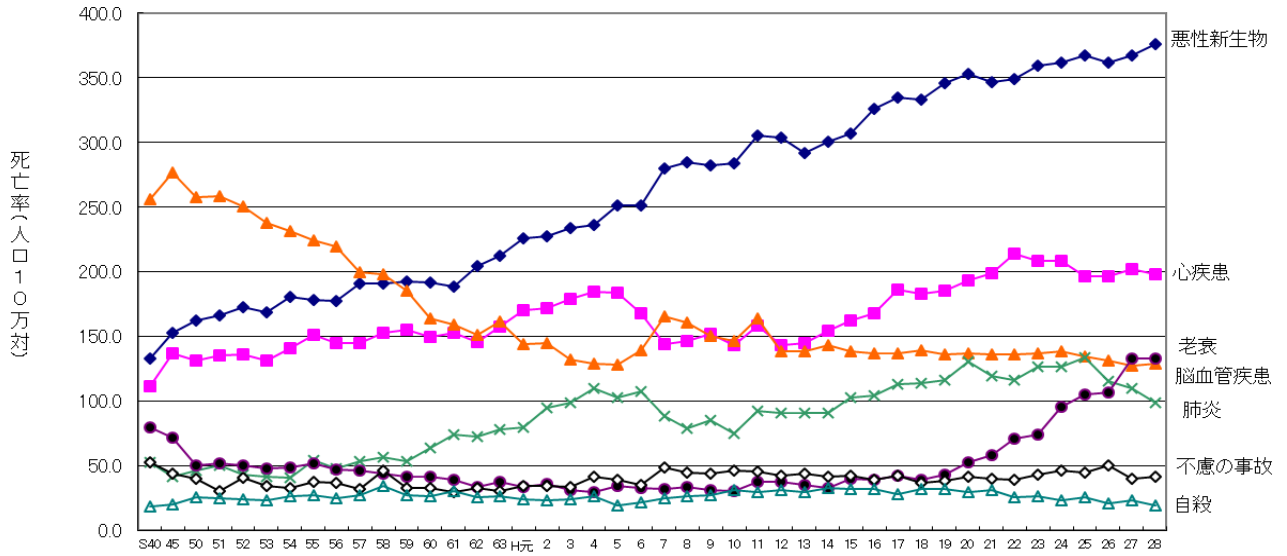


表5 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	平成 28 年									平成 27 年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,571	375.9	1	1,510	459.0	1	1,061	298.9	1	2,529	367.1
心疾患（高血圧性を除く）	2	1,357	198.4	2	582	176.9	2	775	218.3	2	1,392	202.0
老衰	3	908	132.7	5	217	66.0	3	691	194.6	3	918	133.2
脳血管疾患	4	880	128.7	3	394	119.8	4	486	136.9	4	879	127.6
肺炎	5	676	98.8	4	379	115.2	5	297	83.7	5	758	110.0
不慮の事故	6	286	41.8	6	156	47.4	7	130	36.6	6	273	39.6
アルツハイマー病	7	194	28.4	10	52	15.8	6	142	40.0	9	155	22.5
腎不全	8	171	25.0	9	75	22.8	9	96	27.0	7	170	24.7
血管性及び詳細不明の認知症	9	162	23.7	13	44	13.4	8	118	33.2	11	122	17.7
自殺	10	130	19.0	8	98	29.8	17	32	9.0	8	158	22.9

注： 男性の7位は「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」で死亡数104・死亡率31.6である。

女性の10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数73・死亡率20.6である。

②年齢別死因

平成 28 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別構成割合から見ると、15～19 歳、20 歳代から 50 歳代前半までは自殺の占める割合が高く、女性と比較して男性の割合が高くなっている。また、死因順位第 1 位の悪性新生物の占める割合は、5～14 歳の各階級において死亡数は低いものの、割合が著しく高いが、男性は概ね 35～39 歳から増加し 65～69 歳が最も高く、女性は 35～39 歳の階級を除いて、概ね 25～29 歳から増加し、55～59 歳の年齢階級が最も高くなっている（図 6）。

図 6－1 性・年齢（5 歳階級）別に見た主な死因の構成割合（男性）

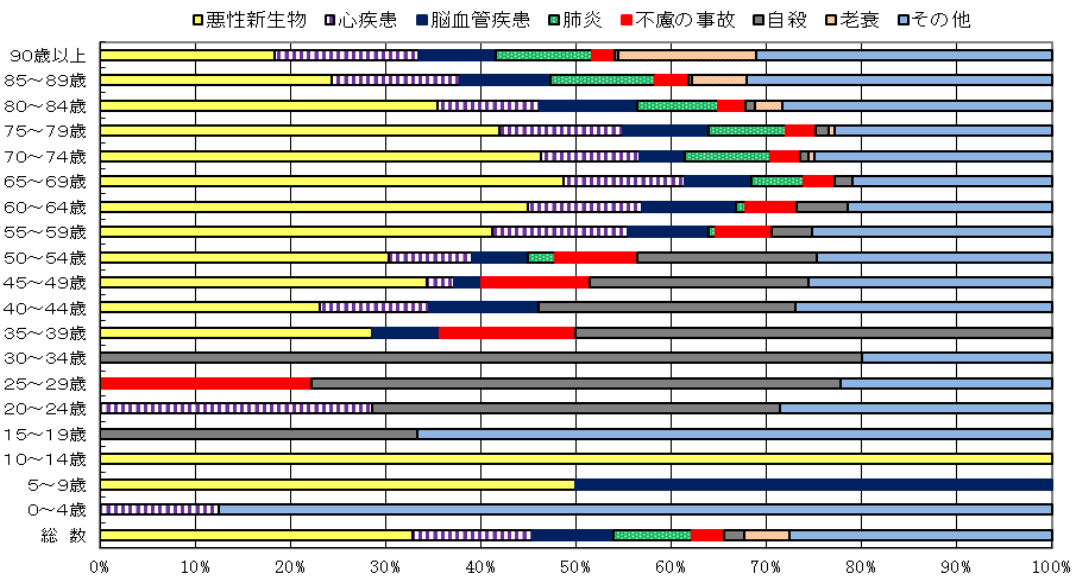
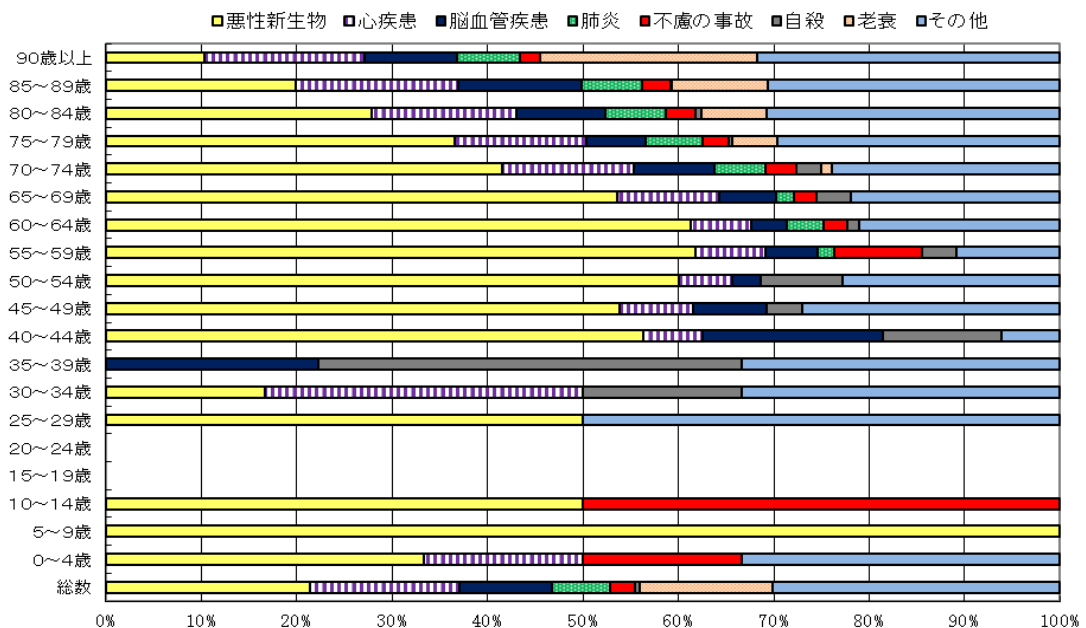


図 6－2 性・年齢（5 歳階級）別に見た主な死因の構成割合（女性）



③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性は肝臓と大腸が上昇しているが、女性では、肺、乳房と肝臓が上昇し、特に乳房は死亡率で過去最高となった。(表6、図7)。

表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移

死亡数

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	16	20	21	22	23	24	25	26	27	28
男性	胃	250	314	293	273	263	267	233	231	251	227	242	230	218	237	216	208
	肺	19	61	82	169	250	299	341	331	308	301	352	305	347	336	363	319
	肝	54	55	65	121	206	208	179	165	168	173	155	159	143	159	137	141
	大腸*	23	42	48	79	151	163	139	183	162	168	177	192	157	175	171	178
女性	胃	165	179	202	149	159	137	150	146	158	137	137	146	149	134	116	109
	肺	8	18	32	52	109	98	91	124	119	123	101	137	112	126	118	128
	肝	37	33	35	55	89	99	96	100	83	88	85	84	103	80	76	90
	乳房	18	16	25	28	38	43	74	60	64	65	56	62	63	67	72	78
	子宮	93	71	57	40	38	25	26	38	17	36	30	30	34	35	29	26
	大腸*	30	44	48	85	123	125	139	168	146	140	154	153	165	150	160	159

死亡率

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	16	20	21	22	23	24	25	26	27	28
男性	胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	73.7	65.4	67.3	73.6	66.5	71.4	68.2	64.7	71.4	65.3	63.2
	肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	82.6	95.8	96.5	90.3	88.2	103.8	90.5	103.0	101.2	109.7	97.0
	肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	57.4	50.3	48.1	49.3	50.7	45.7	47.2	42.4	47.9	41.4	42.9
	大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	45.0	39.0	53.4	47.5	49.2	52.2	57.0	46.6	52.7	51.7	54.1
女性	胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	34.7	38.6	38.7	42.2	36.9	37.1	39.9	40.7	37.2	32.4	30.7
	肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	24.8	23.4	32.9	31.8	33.1	27.4	37.4	30.6	35.0	32.9	36.1
	肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	25.1	24.7	26.5	22.2	23.7	23.0	23.0	28.1	22.2	21.2	25.4
	乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	10.9	19.0	15.9	17.1	17.5	15.2	16.9	17.2	18.6	20.1	22.0
	子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.3	6.7	10.1	4.5	9.7	8.1	8.2	9.3	9.7	8.1	7.3
	大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	31.7	35.7	44.6	39.0	37.7	41.7	41.8	45.1	41.7	44.7	44.8

注：大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（男性）

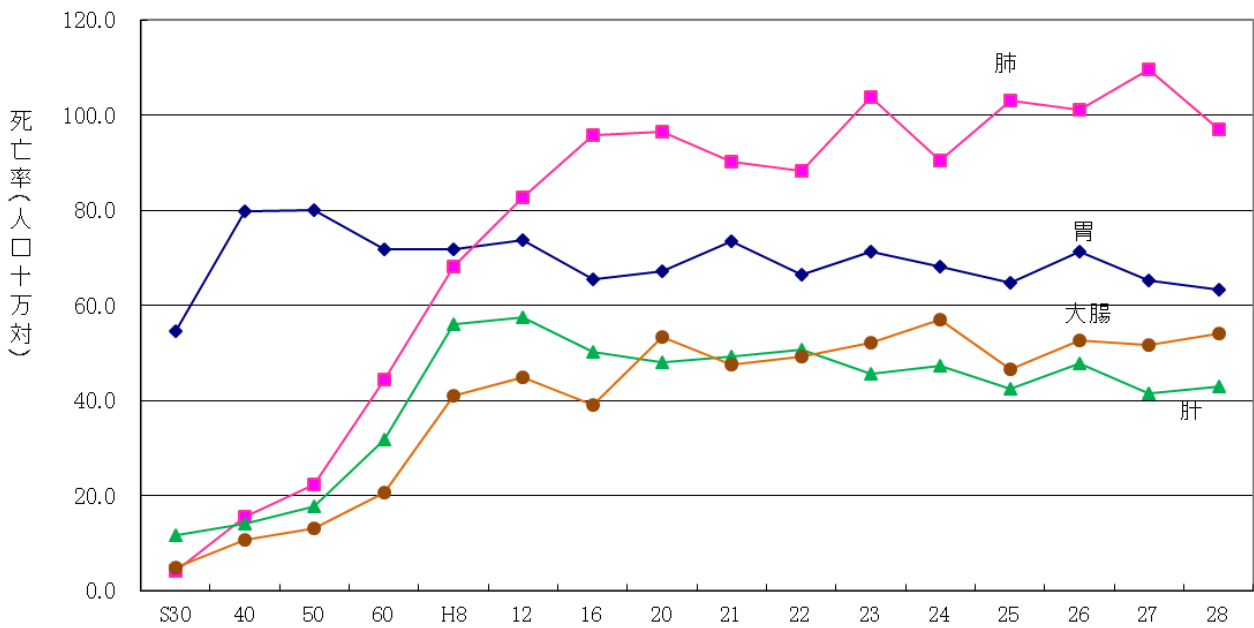
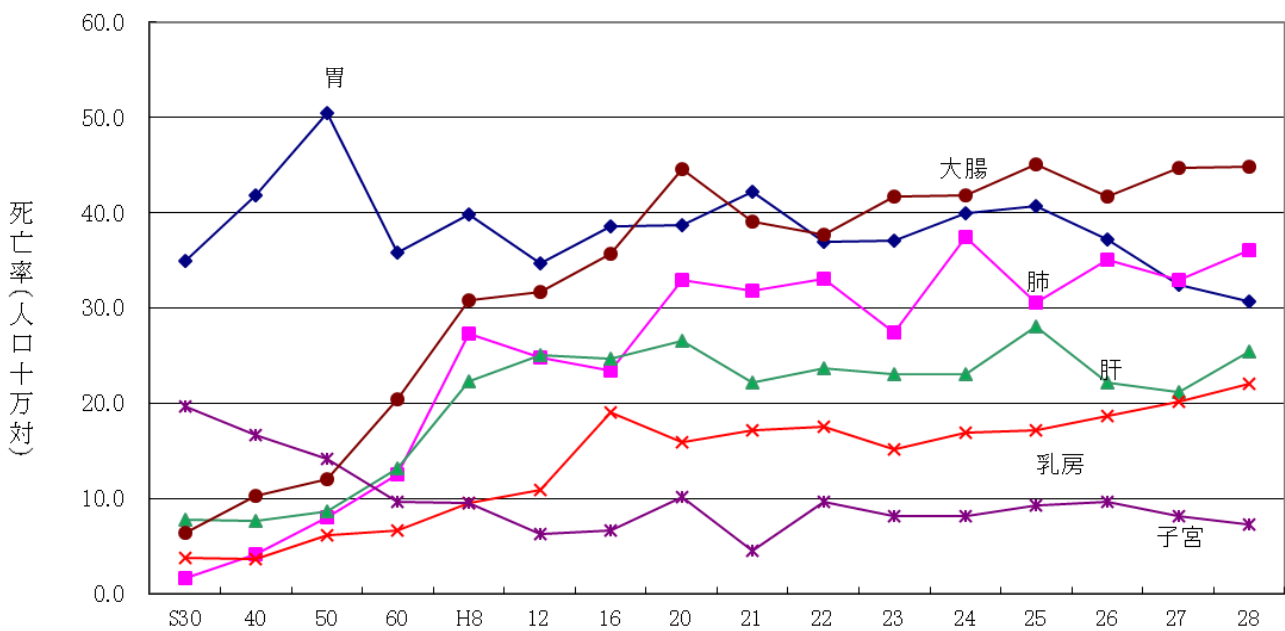


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（女性）



4 婚姻

平成 28 年の婚姻件数は 2,753 組で、前年の 2,931 組から 178 組減少した。婚姻率（人口千対）は 4.0 で、前年の 4.3 を 0.3 下回った。

婚姻率の年次推移をみると、第 1 次婚姻ブームである昭和 22、23 年は高かったものの、以後急激に低下していった。その後わずかに増加に転じ、昭和 33 年には 7.9 まで回復した。また、戦後のベビーブームに生まれた子供が適齢期に達した昭和 46 年には再び 7.5 まで上昇したが、その後は年々低下し、平成元年には 4.4 を記録した。平成元年以降はほぼ横ばいに推移していたが、この平成 28 年には、4.3 を記録した平成 20 年を下回り、過去最低の 4.0 となった（図 8）。

平均初婚年齢は夫が 30.4 歳、妻が 28.7 歳であり、晩婚化が進行している（表 7）。

図 8 婚姻率の年次推移

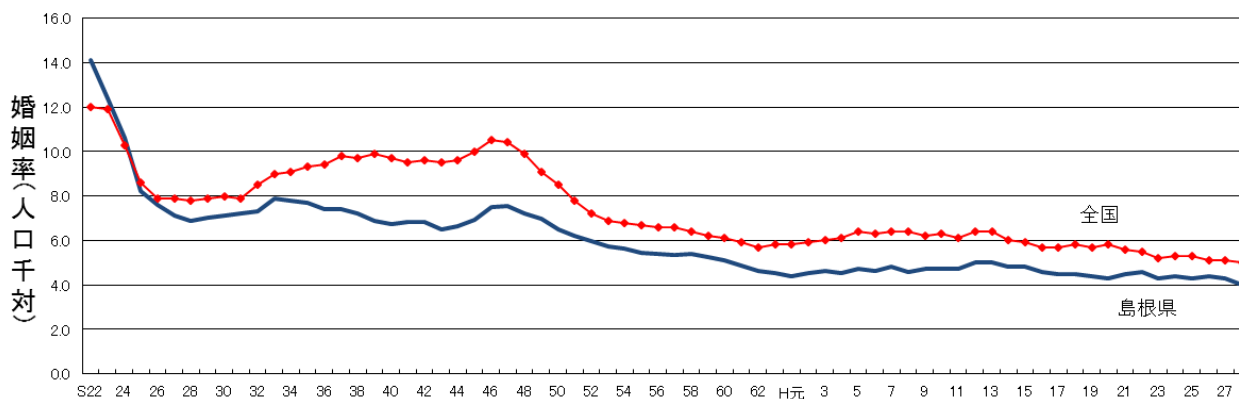


表 7 平均初婚年齢の年次推移

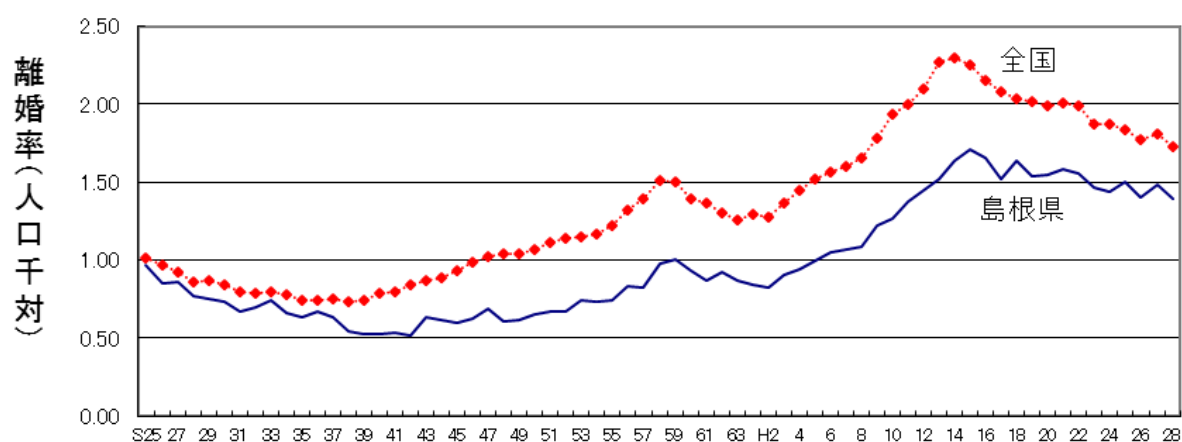
	夫		妻	
	島根県	全国	島根県	全国
昭和40	27.3	27.2	24.5	24.5
45	26.8	26.9	24.1	24.2
50	26.8	27.0	24.5	24.7
55	27.6	27.8	25.0	25.2
60	28.1	28.2	25.3	25.5
平成2	28.4	28.4	25.7	25.9
7	28.4	28.5	25.9	26.3
12	28.3	28.8	26.6	27.0
17	29.1	29.8	27.4	28.0
18	29.5	30.0	27.5	28.2
19	29.5	30.1	27.8	28.3
20	29.8	30.2	27.9	28.5
21	29.8	30.4	28.1	28.6
22	30.0	30.5	28.4	28.8
23	30.3	30.7	28.5	29.0
24	30.4	30.8	28.6	29.2
25	30.5	30.9	29.0	29.3
26	30.7	31.1	28.9	29.4
27	30.4	31.1	29.1	29.4
28	30.4	31.1	28.7	29.4

5 離婚

平成 28 年の離婚件数は 949 件で、前年の 1,022 組から 73 組減少した。離婚率（人口千対）は 1.39 で、前年の 1.48 を 0.09 下回った。

離婚率の年次推移をみると、昭和 42 年までは低下傾向にあったが、その後は増減を繰り返しつつ上昇し、平成 15 年には過去最高の 1.71 を記録した。その後増減を繰り返しほぼ横ばいに推移している。また、全国平均と比べるとはるかに低くなっている（図 9）。

図 9 離婚率の年次推移



統計表

第1表 人口動態総覧(実数)の年次推移

年次	出生数			死亡数			(再掲)					
	総数	男	女	総数	男	女	乳児(1歳未満)死亡数			新生児(生後28日未満)死亡数		
							総数	男	女	総数	男	女
昭和 25 年	25,857	13,286	12,571	11,704	5,863	5,841	1,651	890	761
26	22,941	11,907	11,034	10,073	5,086	4,987	1,303	729	574	675	384	291
27	20,774	10,661	10,113	9,597	4,887	4,710	1,073	593	480	593	333	260
28	19,725	10,172	9,553	9,647	4,849	4,798	992	550	442	552	314	238
29	17,859	9,150	8,709	8,940	4,555	4,385	839	436	403	493	254	239
30	17,162	8,914	8,248	8,397	4,375	4,022	707	388	319	425	239	186
31	16,628	8,480	8,148	9,051	4,619	4,432	700	384	316	423	235	188
32	14,867	7,675	7,192	8,908	4,587	4,321	630	371	259	360	215	145
33	15,243	7,787	7,456	8,006	4,171	3,835	551	318	233	326	190	136
34	14,881	7,686	7,195	8,004	4,165	3,839	546	301	245	348	193	155
35	14,113	7,160	6,953	8,434	4,483	3,951	495	285	210	277	152	125
36	13,198	6,780	6,418	8,271	4,324	3,947	412	223	189	238	140	98
37	12,661	6,486	6,175	8,249	4,292	3,957	391	206	185	225	127	98
38	12,309	6,270	6,039	8,316	4,302	4,014	352	196	156	231	128	103
39	12,136	6,213	5,923	7,793	4,071	3,722	262	141	121	170	93	77
40	11,796	5,996	5,800	8,176	4,356	3,820	269	146	123	171	94	77
41	8,630	4,525	4,105	7,499	4,026	3,473	178	88	90	120	60	60
42	12,075	6,205	5,870	7,380	3,919	3,461	207	117	90	143	85	58
43	10,993	5,688	5,305	7,660	4,034	3,626	175	109	66	112	74	38
44	10,704	5,666	5,038	7,584	4,032	3,552	171	107	64	96	66	30
45	10,539	5,486	5,053	7,789	4,197	3,592	149	95	54	97	60	37
46	10,767	5,598	5,169	7,340	3,933	3,407	151	89	62	94	57	37
47	10,938	5,514	5,424	7,233	3,771	3,462	116	56	60	75	37	38
48	11,618	6,064	5,554	7,214	3,847	3,367	133	83	50	87	56	31
49	11,409	5,919	5,490	7,189	3,837	3,352	121	73	48	82	54	28
50	10,939	5,557	5,382	7,197	3,835	3,362	105	69	36	74	51	23
51	10,511	5,463	5,048	7,179	3,870	3,309	103	64	39	69	45	24
52	10,381	5,414	4,967	6,978	3,780	3,198	92	49	43	63	32	31
53	10,247	5,401	4,846	6,820	3,704	3,116	84	53	31	54	33	21
54	10,136	5,245	4,891	6,747	3,608	3,139	69	44	25	50	32	18
55	9,959	5,039	4,920	7,105	3,801	3,304	95	55	40	71	41	30
56	9,720	4,966	4,754	6,745	3,605	3,140	71	39	32	47	28	19
57	9,366	4,836	4,530	6,671	3,551	3,120	57	29	28	38	23	15
58	9,536	4,905	4,631	7,040	3,799	3,241	60	33	27	36	25	11
59	9,278	4,732	4,546	6,663	3,615	3,048	61	41	20	33	23	10
60	9,051	4,609	4,442	6,633	3,519	3,114	47	21	26	26	12	14
61	8,828	4,561	4,267	6,696	3,609	3,087	60	34	26	30	20	10
62	8,523	4,383	4,140	6,553	3,558	2,995	51	29	22	36	21	15
63	8,156	4,150	4,006	6,862	3,628	3,234	39	21	18	19	11	8
平成 元 年	7,759	4,006	3,753	6,907	3,773	3,134	30	16	14	18	11	7
2	7,510	3,859	3,651	7,078	3,823	3,255	50	28	22	25	17	8
3	7,390	3,789	3,601	7,045	3,842	3,203	30	18	12	16	8	8
4	7,081	3,629	3,452	7,280	3,979	3,301	31	22	9	12	7	5
5	6,959	3,502	3,457	7,280	3,953	3,327	25	15	10	10	6	4
6	7,068	3,565	3,503	7,337	3,907	3,430	35	16	19	14	6	8
7	6,764	3,455	3,309	7,687	4,124	3,563	32	13	19	16	8	8
8	6,828	3,544	3,284	7,501	3,915	3,586	34	18	16	16	12	4
9	6,518	3,360	3,158	7,554	4,063	3,491	23	9	14	10	3	7
10	6,491	3,242	3,249	7,384	3,962	3,422	27	12	15	14	5	9
11	6,394	3,276	3,118	8,204	4,348	3,856	26	13	13	16	8	8
12	6,522	3,349	3,173	7,700	4,213	3,487	16	10	6	7	4	3
13	6,640	3,417	3,223	7,666	4,111	3,555	23	13	10	15	10	5
14	6,318	3,224	3,094	7,837	4,184	3,653	20	11	9	10	6	4
15	6,092	3,148	2,908	8,050	4,375	3,675	21	15	6	9	8	1
16	6,104	3,087	3,017	8,212	4,365	3,847	18	8	10	10	5	5
17	5,697	2,869	2,828	8,557	4,539	4,018	18	13	5	7	4	3
18	6,011	3,090	2,921	8,453	4,357	4,096	16	11	5	8	5	3
19	5,914	3,051	2,863	8,660	4,521	4,139	13	8	5	6	2	4
20	5,685	2,908	2,777	9,011	4,604	4,407	11	6	5	5	3	2
21	5,601	2,891	2,710	8,854	4,548	4,306	11	10	1	6	5	1
22	5,756	2,928	2,828	9,109	4,621	4,488	13	10	3	7	6	1
23	5,582	2,816	2,766	9,412	4,790	4,622	11	4	7	5	1	4
24	5,585	2,975	2,610	9,513	4,704	4,809	11	7	4	6	4	2
25	5,534	2,804	2,730	9,572	4,713	4,859	13	7	6	6	4	2
26	5,359	2,730	2,629	9,369	4,692	4,677	13	11	2	3	3	-
27	5,551	2,948	2,603	9,604	4,708	4,896	8	3	5	6	2	4
28	5,300	2,729	2,571	9,562	4,605	4,957	11	8	3	4	3	1

注(1) 周産期死亡数は、平成6年までは妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものであり、平成7年からは妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものであるため、年次比較には注意を要する。

(2) 平成28年は概数である。

昭和25年～平成28年

自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻 件数	離婚 件数	年次
	総数	自然	人工	総数	妊娠満2週 以後の死産	早期新生 児死亡			
14,153	2,593	1,141	1,452	7,487	886	25
12,868	2,623	1,015	1,608	6,900	774	26
11,177	2,484	916	1,568	6,523	789	27
10,078	2,301	825	1,476	6,305	707	28
8,919	2,154	772	1,382	6,509	697	29
8,765	2,089	704	1,385	6,559	676	30
7,577	1,956	687	1,269	6,615	621	31
5,959	2,070	688	1,382	6,692	637	32
7,237	2,186	773	1,413	7,157	675	33
6,877	1,850	678	1,172	7,043	591	34
5,679	1,827	669	1,158	6,888	563	35
4,927	1,844	694	1,150	6,541	592	36
4,412	1,751	663	1,088	6,452	551	37
3,993	1,667	632	1,035	6,171	461	38
4,343	1,506	587	919	5,846	448	39
3,620	1,334	560	774	5,514	432	40
1,131	1,189	461	728	5,525	431	41
4,695	1,099	486	613	5,457	416	42
3,333	998	450	548	245	161	84	5,139	503	43
3,120	965	465	500	232	161	71	5,210	485	44
2,750	907	444	463	235	158	77	5,334	460	45
3,427	839	426	413	226	151	75	5,713	477	46
3,705	808	431	377	188	127	61	5,751	522	47
4,404	743	390	353	199	126	73	5,502	460	48
4,220	684	383	301	211	142	69	5,334	469	49
3,742	621	329	292	188	127	61	4,980	499	50
3,332	591	306	285	146	84	62	4,763	515	51
3,403	556	263	293	140	90	50	4,610	520	52
3,427	519	276	243	139	94	45	4,459	580	53
3,389	488	237	251	120	77	43	4,377	574	54
2,854	470	263	207	141	78	63	4,243	579	55
2,975	465	248	217	109	70	39	4,235	650	56
2,695	473	235	238	102	69	33	4,205	651	57
2,496	443	229	214	94	62	32	4,253	770	58
2,615	417	200	217	80	53	27	4,127	789	59
2,418	424	204	220	75	58	17	4,089	742	60
2,132	386	177	209	61	36	25	3,859	688	61
1,970	317	146	171	70	41	29	3,653	732	62
1,294	333	130	203	37	24	13	3,562	684	63
852	301	149	152	52	39	13	3,438	661	平成元年
432	291	131	160	42	25	17	3,513	645	2
345	282	111	171	35	25	10	3,587	702	3
-199	287	116	171	30	21	9	3,515	730	4
-321	254	97	157	32	24	8	3,637	769	5
-269	216	100	116	29	17	12	3,540	809	6
-923	196	92	104	49	37	12	3,699	818	7
-673	217	103	114	42	29	13	3,520	836	8
-1,036	187	70	117	33	26	7	3,562	930	9
-893	210	80	130	43	30	13	3,562	965	10
-1,810	218	87	131	44	32	12	3,570	1,050	11
-1,178	201	73	128	32	27	5	3,772	1,095	12
-1,026	209	81	128	40	33	7	3,803	1,146	13
-1,519	185	69	116	26	19	7	3,614	1,235	14
-1,958	178	64	114	29	23	6	3,569	1,278	15
-2,108	191	68	123	24	18	6	3,441	1,235	16
-2,860	170	61	109	31	24	7	3,345	1,124	17
-2,442	160	56	104	24	18	6	3,305	1,199	18
-2,746	155	67	88	31	27	4	3,203	1,119	19
-3,326	155	73	82	22	19	3	3,103	1,117	20
-3,253	144	66	78	26	24	2	3,220	1,127	21
-3,353	143	67	76	23	17	6	3,283	1,110	22
-3,830	136	51	85	13	9	4	3,058	1,043	23
-3,928	138	57	81	19	14	5	3,114	1,014	24
-4,038	131	54	77	20	16	4	2,992	1,045	25
-4,010	124	65	59	17	17	-	3,022	966	26
-4,053	107	41	66	14	10	4	2,931	1,022	27
-4,262	136	79	57	17	15	2	2,753	949	28

第2表 人口動態総覧(率)の年次推移

昭和25年～平成28年

年次	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死 亡率 (出生千対)	新生児 死亡率 (出生千対)	自然 増減率 (人口千対)	死産率(出産*1千対)			周産期 死亡率 (出産*2 千対)	妊娠満22週 以後の死産率 (出産*2 千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)
						総数	自然	人工					
昭和 25 年	28.3	12.8	63.9	...	15.5	91.9	40.1	51.0	8.2	0.97
26	25.2	11.0	56.8	29.4	14.1	102.6	39.7	62.9	7.6	0.85
27	22.7	10.5	51.7	28.5	12.2	106.8	39.4	67.4	7.1	0.86
28	21.5	10.5	50.3	28.0	11.0	104.5	37.5	67.0	6.9	0.77
29	19.3	9.7	47.0	27.6	9.6	107.6	38.6	69.1	7.0	0.75
30	18.5	9.0	41.2	24.8	9.4	108.5	36.6	71.9	7.1	0.73
31	18.0	9.8	42.1	25.4	8.2	105.3	37.0	68.3	7.2	0.67
32	16.2	9.7	42.4	24.2	6.5	122.2	40.6	81.6	7.3	0.70
33	16.8	8.8	36.1	21.4	8.0	125.4	44.4	81.1	7.9	0.74
34	16.6	8.9	36.7	23.4	7.6	118.5	40.9	70.8	7.8	0.66
35	15.9	9.5	35.1	19.6	6.4	114.6	42.0	72.6	7.7	0.63
36	15.0	9.4	31.2	18.0	5.6	123.1	46.0	76.3	7.4	0.67
37	14.6	9.5	30.9	17.8	5.1	121.9	45.9	75.4	7.4	0.63
38	14.4	9.7	28.6	18.8	4.7	119.3	45.2	74.0	7.2	0.54
39	14.4	9.3	21.6	14.0	5.2	110.7	43.1	67.4	6.9	0.53
40	14.4	10.0	22.8	14.5	4.4	101.6	42.7	58.9	6.7	0.53
41	10.7	9.3	20.6	13.9	1.4	121.1	46.9	74.1	6.8	0.53
42	15.1	9.2	17.1	11.8	5.9	83.4	36.9	46.5	6.8	0.52
43	13.9	9.7	15.9	10.2	4.2	83.2	37.5	45.7	6.5	0.64
44	13.7	9.7	16.0	9.0	4.0	82.7	39.8	42.8	6.7	0.62
45	13.7	10.1	14.1	9.2	3.6	79.2	38.8	40.5	6.9	0.60
46	14.1	9.6	14.0	8.7	4.5	72.3	36.7	35.6	7.5	0.62
47	14.4	9.5	10.6	6.9	4.9	68.8	36.7	32.1	7.5	0.69
48	15.2	9.5	11.4	7.5	5.8	60.1	31.6	28.6	7.2	0.60
49	15.0	9.4	10.6	7.2	5.5	56.6	31.7	24.9	7.0	0.61
50	14.3	9.4	9.6	6.8	4.9	53.7	28.5	25.3	6.5	0.65
51	13.7	9.3	9.8	6.6	4.3	53.2	27.6	25.7	6.2	0.67
52	13.4	9.0	8.9	6.1	4.4	50.8	24.0	26.8	6.0	0.67
53	13.2	8.8	8.2	5.3	4.4	48.2	25.6	22.6	5.7	0.75
54	13.0	8.7	6.8	4.9	4.3	45.9	22.3	23.6	5.6	0.74
55	12.7	9.1	9.5	7.1	3.6	45.1	25.2	19.8	5.4	0.74
56	12.4	8.6	7.3	4.8	3.8	45.7	24.3	21.3	5.4	0.83
57	11.9	8.5	6.1	4.1	3.4	48.1	23.9	24.2	5.3	0.83
58	12.1	9.0	6.3	3.8	3.2	44.4	22.9	21.4	5.4	0.98
59	11.8	8.5	6.6	3.6	3.3	43.0	20.6	22.4	5.2	1.00
60	11.3	8.3	5.2	2.9	3.0	44.7	21.5	23.2	5.1	0.93
61	11.1	8.5	6.8	3.4	2.7	41.9	19.2	22.7	4.9	0.87
62	10.8	8.3	6.0	4.2	2.5	35.9	16.5	19.3	4.6	0.92
63	10.3	8.7	4.8	2.3	1.6	39.2	15.3	23.9	4.5	0.87
平成 元 年	9.9	8.8	3.9	2.3	1.1	37.3	18.5	18.9	4.4	0.84
2	9.6	9.1	6.7	3.3	0.6	37.3	16.8	20.5	4.5	0.83
3	9.5	9.1	4.1	2.2	0.4	36.8	14.5	22.3	4.6	0.90
4	9.2	9.4	4.4	1.7	△ 0.3	39.0	15.7	23.2	4.5	0.94
5	9.0	9.5	3.6	1.4	△ 0.4	35.2	13.4	21.8	4.7	1.00
6	9.2	9.5	5.0	2.0	△ 0.3	29.7	13.7	15.9	4.6	1.05
7	8.8	10.0	4.7	2.4	△ 1.2	28.2	13.2	14.9	7.2	5.4	1.8	4.8	1.06
8	8.9	9.8	5.0	2.3	△ 0.9	30.8	14.6	16.2	6.1	4.2	1.9	4.6	1.09
9	8.5	9.9	3.5	1.5	△ 1.4	27.9	10.4	17.4	5.0	4.0	1.1	4.7	1.22
10	8.5	9.7	4.2	2.2	△ 1.2	31.3	11.9	19.4	6.6	4.6	2.0	4.7	1.27
11	8.4	10.8	4.1	2.5	△ 2.4	33.0	13.2	19.8	6.8	5.0	1.9	4.7	1.38
12	8.6	10.2	2.5	1.1	△ 1.6	29.9	10.9	19.0	4.9	4.1	0.8	5.0	1.45
13	8.8	10.1	3.5	2.3	△ 1.4	30.5	11.8	18.7	6.0	4.9	1.1	5.0	1.52
14	8.4	10.4	3.2	1.6	△ 2.0	28.4	10.6	17.8	4.3	3.2	1.1	4.8	1.64
15	8.1	10.7	3.4	1.5	△ 2.6	28.4	10.2	18.2	4.7	3.8	1.0	4.8	1.71
16	8.2	11.0	2.9	1.6	△ 2.8	30.3	10.8	19.5	3.9	2.9	1.0	4.6	1.66
17	7.7	11.6	3.2	1.2	△ 3.9	29.0	10.4	18.6	5.4	4.2	1.2	4.5	1.52
18	8.2	11.5	2.7	1.3	△ 3.3	25.9	9.1	16.9	4.0	3.0	1.0	4.5	1.64
19	8.1	11.9	2.2	1.0	△ 3.8	25.5	11.0	14.5	5.2	4.5	0.7	4.4	1.54
20	7.9	12.5	1.9	0.9	△ 4.6	26.5	12.5	14.0	3.9	3.3	0.5	4.3	1.55
21	7.8	12.4	2.0	1.1	△ 4.5	25.1	11.5	13.6	4.6	4.3	0.4	4.5	1.58
22	8.1	12.8	2.3	1.2	△ 4.7	24.2	11.4	12.9	4.0	2.9	1.0	4.6	1.56
23	7.9	13.3	2.0	0.9	△ 5.4	23.8	8.9	14.9	2.3	1.6	0.7	4.3	1.47
24	8.0	13.6	2.0	1.1	△ 5.6	24.1	10.0	14.2	3.4	2.5	0.9	4.4	1.44
25	7.9	13.7	2.3	1.1	△ 5.8	23.1	9.5	13.6	3.6	2.9	0.7	4.3	1.50
26	7.7	13.5	2.4	0.6	△ 5.8	22.6	11.9	10.8	3.2	3.2	0.0	4.4	1.40
27	8.1	13.9	1.4	1.1	△ 5.9	18.9	7.2	11.7	2.5	1.8	0.7	4.3	1.48
28	7.7	14.0	2.1	0.8	△ 6.2	25.0	14.5	10.5	3.2	2.8	0.4	4.0	1.39

注(1) 出産*1は出生に死産を加えたもの、出産*2は出生に妊娠満22週以後の死産数を加えたものである。

(2) 平成28年は概数である。

第3表 母の年齢(5歳階級)別出生数の年次推移

(単位:人)

昭和40年～平成28年

年次	総数	母の年齢									
		～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	不詳
昭和40年	11,796	1	87	2,961	5,628	2,512	530	72	4	1	-
45	10,539	-	72	2,691	5,263	1,976	470	56	8	1	2
50	10,939	-	68	2,764	5,931	1,805	329	42	-	-	-
51	10,511	-	63	2,537	6,037	1,524	302	45	3	-	-
52	10,381	-	64	2,264	6,076	1,664	269	41	3	-	-
53	10,247	-	51	2,131	5,807	1,914	305	35	4	-	-
54	10,136	-	44	2,079	5,497	2,213	265	37	1	-	-
55	9,959	-	54	1,923	5,257	2,371	311	43	-	-	-
56	9,720	-	55	1,802	5,065	2,469	290	39	-	-	-
57	9,366	-	53	1,762	4,749	2,408	365	28	1	-	-
58	9,536	-	75	1,777	4,821	2,377	448	37	1	-	-
59	9,278	-	79	1,613	4,697	2,342	504	41	2	-	-
60	9,051	-	94	1,491	4,614	2,286	519	45	2	-	-
61	8,828	-	68	1,432	4,428	2,323	541	36	-	-	-
62	8,523	-	86	1,389	4,184	2,296	515	52	1	-	-
63	8,156	-	64	1,194	3,988	2,373	477	59	1	-	-
平成元年	7,759	-	70	1,170	3,638	2,310	498	72	1	-	-
2	7,510	-	89	1,175	3,391	2,242	535	77	1	-	-
3	7,390	-	113	1,138	3,191	2,329	551	68	-	-	-
4	7,081	-	88	1,191	3,011	2,212	519	59	1	-	-
5	6,959	1	91	1,184	2,885	2,190	549	58	1	-	-
6	7,068	-	107	1,208	2,909	2,196	601	47	-	-	-
7	6,764	-	109	1,155	2,694	2,144	599	62	1	-	-
8	6,828	1	83	1,175	2,815	2,071	614	67	2	-	-
9	6,518	-	64	1,170	2,604	1,982	622	72	4	-	-
10	6,491	-	73	1,052	2,661	2,003	623	76	3	-	-
11	6,394	-	76	1,004	2,630	1,974	637	71	2	-	-
12	6,522	-	93	988	2,624	1,978	735	101	3	-	-
13	6,640	-	120	1,012	2,723	2,014	684	84	3	-	-
14	6,318	-	114	984	2,453	1,974	705	83	3	2	-
15	6,092	2	105	923	2,276	1,985	712	85	4	-	-
16	6,104	-	94	894	2,204	2,066	732	112	2	-	-
17	5,697	-	104	780	2,006	1,987	721	96	3	-	-
18	6,011	-	95	796	2,015	2,223	766	114	2	-	-
19	5,914	-	70	791	1,971	2,101	852	125	4	-	-
20	5,685	-	79	682	1,807	2,026	976	113	2	-	-
21	5,601	-	87	687	1,769	1,973	968	112	5	-	-
22	5,756	-	71	691	1,795	1,986	1,049	162	2	-	-
23	5,582	1	62	654	1,672	1,958	1,075	160	-	-	-
24	5,585	-	58	600	1,687	1,906	1,124	208	2	-	-
25	5,472	-	62	524	1,681	1,961	1,113	190	3	-	-
26	5,359	1	69	471	1,659	1,858	1,055	238	8	-	-
27	5,551	-	57	539	1,542	1,985	1,156	266	6	-	-
28	5,300	1	70	472	1,537	1,769	1,152	292	7	-	-

注：平成28年は概数である。

第5表 死因簡単分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因簡単分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		H28死亡総数に占める割合(%)
	平成28年	平成27年	平成28年	平成27年	
総 数	9,562	9,604	1398.0	1394.0	100.0
1000 感染症及び寄生虫症	166	153	24.3	22.2	1.7
1100 腸管感染症	33	18	4.8	2.6	0.3
1200 結核	12	14	1.8	2.0	0.1
1201 呼吸器結核	6	11	0.9	1.6	0.1
1202 その他の結核	6	3	0.9	0.4	0.1
1300 敗血症	60	54	8.8	7.8	0.6
1400 ウイルス肝炎	21	25	3.1	3.6	0.2
1401 B型ウイルス肝炎	1	-	0.1	-	0.0
1402 C型ウイルス肝炎	19	24	2.8	3.5	0.2
1403 その他のウイルス肝炎	1	1	0.1	0.1	0.0
1500 ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	-	-	-	-	-
1600 その他の感染症及び寄生虫症	40	42	5.8	6.1	0.4
2000 新生物	2,661	2,614	389.0	379.4	27.8
2100 悪性新生物	2,571	2,529	375.9	367.1	26.9
2101 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	52	57	7.6	8.3	0.5
2102 食道の悪性新生物	77	78	11.3	11.3	0.8
2103 胃の悪性新生物	317	332	46.3	48.2	3.3
2104 結腸の悪性新生物	220	241	32.2	35.0	2.3
2105 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	117	90	17.1	13.1	1.2
2106 肝及び肝内胆管の悪性新生物	231	213	33.8	30.9	2.4
2107 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	138	144	20.2	20.9	1.4
2108 膵の悪性新生物	270	234	39.5	34.0	2.8
2109 喉頭の悪性新生物	5	4	0.7	0.6	0.1
2110 気管、気管支及び肺の悪性新生物	447	481	65.4	69.8	4.7
2111 皮膚の悪性新生物	9	14	1.3	2.0	0.1
2112 乳房の悪性新生物	79	73	11.5	10.6	0.8
2113 子宮の悪性新生物	26	29	7.3	8.1	0.3
2114 卵巣の悪性新生物	30	34	8.5	9.5	0.3
2115 前立腺の悪性新生物	73	90	22.2	27.2	0.8
2116 膀胱の悪性新生物	72	71	10.5	10.3	0.8
2117 中枢神経系の悪性新生物	22	15	3.2	2.2	0.2
2118 悪性リンパ腫	91	78	13.3	11.3	1.0
2119 白血病	64	47	9.4	6.8	0.7
2120 その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	45	33	6.6	4.8	0.5

第5表 死因簡単分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因簡単分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		H28死亡総数に占める割合(%)
	平成28年	平成27年	平成28年	平成27年	
2121 その他の悪性新生物	186	171	27.2	24.8	1.9
2200 その他の新生物	90	85	13.2	12.3	0.9
2201 中枢神経系のその他の新生物	10	17	1.5	2.5	0.1
2202 中枢神経系を除くその他の新生物	80	68	11.7	9.9	0.8
3000 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	26	24	3.8	3.5	0.3
3100 貧血	9	10	1.3	1.5	0.1
3200 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17	14	2.5	2.0	0.2
4000 内分泌、栄養及び代謝疾患	139	156	20.3	22.6	1.5
4100 糖尿病	65	87	9.5	12.6	0.7
4200 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	74	69	10.8	10.0	0.8
5000 精神及び行動の障害	187	142	27.3	20.6	2.0
5100 血管性及び詳細不明の認知症	162	122	23.7	17.7	1.7
5200 その他の精神及び行動の障害	25	20	3.7	2.9	0.3
6000 神経系の疾患	344	336	50.3	48.8	3.6
6100 髄膜炎	3	-	0.4	-	0.0
6200 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	16	18	2.3	2.6	0.2
6300 パーキンソン病	43	71	6.3	10.3	0.4
6400 アルツハイマー病	194	155	28.4	22.5	2.0
6500 その他の神経系の疾患	88	92	12.9	13.4	0.9
7000 眼及び付属器の疾患	-	-	-	-	-
8000 耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-
9000 循環器系の疾患	2,460	2,486	359.6	360.8	25.7
9100 高血圧性疾患	53	56	7.7	8.1	0.6
9101 高血圧性心疾患及び心腎疾患	16	25	2.3	3.6	0.2
9102 その他の高血圧性疾患	37	31	5.4	4.5	0.4
9200 心疾患(高血圧性を除く)	1,357	1,392	198.4	202.0	14.2
9201 慢性リウマチ性心疾患	19	17	2.8	2.5	0.2
9202 急性心筋梗塞	166	186	24.3	27.0	1.7
9203 その他の虚血性心疾患	116	132	17.0	19.2	1.2
9204 慢性非リウマチ性心内膜疾患	104	89	15.2	12.9	1.1
9205 心筋症	38	37	5.6	5.4	0.4
9206 不整脈及び伝導障害	411	385	60.1	55.9	4.3
9207 心不全	479	521	70.0	75.6	5.0
9208 その他の心疾患	24	25	3.5	3.6	0.3
9300 脳血管疾患	880	879	128.7	127.6	9.2

第5表 死因簡単分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因簡単分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		H28死亡総数に占める割合(%)
	平成28年	平成27年	平成28年	平成27年	
9301 くも膜下出血	77	75	11.3	10.9	0.8
9302 脳内出血	230	237	33.6	34.4	2.4
9303 脳梗塞	559	555	81.7	80.6	5.8
9304 その他の脳血管疾患	14	12	2.0	1.7	0.1
9400 大動脈瘤及び解離	124	106	18.1	15.4	1.3
9500 その他の循環器系の疾患	46	53	6.7	7.7	0.5
10000 呼吸器系の疾患	1,375	1,503	201.0	218.2	14.4
10100 インフルエンザ	5	13	0.7	1.9	0.1
10200 肺炎	676	758	98.8	110.0	7.1
10300 急性気管支炎	7	7	1.0	1.0	0.1
10400 慢性閉塞性肺疾患	123	138	18.0	20.0	1.3
10500 喘息	13	12	1.9	1.7	0.1
10600 その他の呼吸器系の疾患	551	575	80.6	83.5	5.8
11000 消化器系の疾患	328	316	48.0	45.9	3.4
11100 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	19	19	2.8	2.8	0.2
11200 ヘルニア及び腸閉塞	42	44	6.1	6.4	0.4
11300 肝疾患	92	87	13.5	12.6	1.0
11301 肝硬変(アルコール性を除く)	45	35	6.6	5.1	0.5
11302 その他の肝疾患	47	52	6.9	7.5	0.5
11400 その他の消化器系の疾患	175	166	25.6	24.1	1.8
12000 皮膚及び皮下組織の疾患	11	11	1.6	1.6	0.1
13000 筋骨格系及び結合組織の疾患	54	50	7.9	7.3	0.6
14000 腎尿路生殖器系の疾患	316	305	46.2	44.3	3.3
14100 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	73	56	10.7	8.1	0.8
14200 腎不全	171	170	25.0	24.7	1.8
14201 急性腎不全	14	28	2.0	4.1	0.1
14202 慢性腎不全	129	109	18.9	15.8	1.3
14203 詳細不明の腎不全	28	33	4.1	4.8	0.3
14300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	72	79	10.5	11.5	0.8
15000 妊娠、分娩及び産じょく	-	-	-	-	-
16000 周産期に発生した病態	4	1	0.6	0.1	0.0
16100 妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	-	-	-	-	-
16200 出産外傷	-	-	-	-	-
16300 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	4	-	0.6	-	0.0
16400 周産期に特異的な感染症	-	1	-	0.1	-

第5表 死因簡単分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因簡単分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		H28死亡総数に占める割合(%)
	平成28年	平成27年	平成28年	平成27年	
16500 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-	-
16600 その他の周産期に発生した病態	-	-	-	-	-
17000 先天奇形、変形及び染色体異常	9	9	1.3	1.3	0.1
17100 神経系の先天奇形	-	-	-	-	-
17200 循環器系の先天奇形	4	3	0.6	0.4	0.0
17201 心臓の先天奇形	4	2	0.6	0.3	0.0
17202 その他の循環器系の先天奇形	-	1	-	0.1	-
17300 消化器系の先天奇形	-	-	-	-	-
17400 その他の先天奇形及び変形	2	3	0.3	0.4	0.0
17500 染色体異常、他に分類されないもの	3	3	0.4	0.4	0.0
18000 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,003	989	146.6	143.6	10.5
18100 老衰	908	918	132.7	133.2	9.5
18200 乳幼児突然死症候群	1	1	0.1	0.1	0.0
18300 その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	94	70	13.7	10.2	1.0
20000 傷害及び死亡の外因	479	509	70.0	73.9	5.0
20100 不慮の事故	286	273	41.8	39.6	3.0
20101 交通事故	30	45	4.4	6.5	0.3
20102 転倒・転落	68	47	9.9	6.8	0.7
20103 不慮の溺死及び溺水	46	31	6.7	4.5	0.5
20104 不慮の窒息	88	106	12.9	15.4	0.9
20105 煙、火及び火災への曝露	6	2	0.9	0.3	0.1
20106 有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	2	3	0.3	0.4	0.0
20107 その他の不慮の事故	46	39	6.7	5.7	0.5
20200 自殺	130	158	19.0	22.9	1.4
20300 他殺	2	-	0.3	-	0.0
20400 その他の外因	61	78	8.9	11.3	0.6
22000 特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100 重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-	-	-	-

注：平成28年は概数

参 考

* 算出に用いた人口

表1 人口総数(日本人人口) (単位:人)

	総数	男	女
人口総数	684,000	329,000	355,000

資料: 「平成28年10月1日現在推計人口」 (総務省統計局)

表2 年齢5歳階級・男女別人口(日本人人口) (単位:人)

年齢階級	総数	男	女
総数	684,000	329,000	355,000
0～4歳	27,000	14,000	13,000
5～9歳	29,000	15,000	14,000
10～14歳	30,000	15,000	15,000
15～19歳	32,000	17,000	15,000
20～24歳	23,000	12,000	11,000
25～29歳	28,000	14,000	13,000
30～34歳	33,000	17,000	16,000
35～39歳	38,000	20,000	19,000
40～44歳	44,000	23,000	22,000
45～49歳	40,000	20,000	20,000
50～54歳	38,000	19,000	19,000
55～59歳	44,000	22,000	22,000
60～64歳	50,000	25,000	25,000
65～69歳	63,000	32,000	32,000
70～74歳	41,000	19,000	22,000
75～79歳	39,000	17,000	22,000
80～84歳	39,000	15,000	24,000
85歳以上	46,000	13,000	33,000

※総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で推計

(注)数値は千人未満の位で四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。